

## 第9回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

### 1. 日時

令和3年12月1日（水） 14:00～15:30

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室(オンライン)

### 3. 出席者

#### (1) 委員

中須賀座長、片岡座長代理、石田委員

#### (2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 恒藤参事官、笠間企画官

### 4. 議事要旨

宇宙開発利用加速化戦略プログラムの戦略プロジェクトの進捗状況について、担当省庁から資料1に基づき報告された。各委員からの主な意見は以下の通り。

#### ■衛星用の通信フルデジタル化技術開発

○衛星技術は常に進展しており、当該技術以外も含めて世界的な動向を常に把握した上で、常にベンチマークを置いて取り組むことが必要。

#### ■衛星データ等を活用したAI分析技術開発

○衛星ごとの差異による補正にも考慮しつつ分析技術を開発していくこと。  
○技術動向を踏まえた開発を進めること。VDES等の新技術が登場した場合の拡張性も視野に入れて開発を進めること。

#### ■小型衛星コンステレーション関連要素技術開発

○将来は世界で販売していくことを見据え、常にベンチマークを置いて取り組むこと。  
○スピード感が重要。高性能だけを追い求めるのではなく、早期に開発、実証をし、その後アップデートしていくという考え方が重要。

#### ■宇宙船外汎用作業ロボットアーム・ハンド技術開発

○国際コミュニティの中で、市場化、標準化に向けて取り組むことが必要。  
○地上試験の実施方法について、よく確認、検討すること。

#### ■ひまわりの高機能化技術開発

○静止軌道の稀有な位置にあるひまわりを、政府内で有効に活用することが重要。観測データの提供方法もしっかりと検討して進めること。  
○気象庁と総務省とで、よく連携して進めること。

以上